

## 第23回日韓アジア未来フォーラム

# 「朝鮮半島から読み解く新しい東北アジアの地政学」

2026年2月20日（金）  
14：00～17：00

於・石川県立図書館食文化体験スペース およびオンライン（Zoomウェビナー）  
日本語・韓国語（同時通訳）

共催：（財）未来人力研究院  
協力：（一社）東北亜未来構想研究所

## 当日の写真

第23回日韓アジア未来フォーラム

# 「朝鮮半島から読み解く新しい 東北アジアの地政学」

2026年2月20日（金）  
14：00～17：00

石川県立図書館食文化体験スペース  
およびオンライン（Zoomウェビナー）

主催：（公財）渥美国際交流財団関ログローバル研究会・SGRA  
共催：（財）未来人力研究院  
協力：（一社）東北亜未来構想研究所  
言語：日本語・韓国語（同時通訳）  
参加費無料（要事前登録）  
お問い合わせ：SGRA事務局（sgra@aisf.or.jp）



ウェブサイト

東北アジアは今、米中対立、ウクライナ戦争、北朝鮮の軍事化、経済安全保障など、複数の危機が交錯する新しい地政学的転換点に立っている。この地域は政治・経済・技術の分野が密接に連動し、従来の安全保障概念を越えた「複合的地政学空間」となりつつある。朝鮮半島は依然としてこの変動の中心に位置し、地域の緊張と協力の両面を象徴している。本フォーラムでは、北朝鮮情勢と東北アジア秩序の変化を再評価するとともに、経済安全保障、サイバー安保、技術同盟といった新しい協力領域を視野に入れ、日韓が共有できる戦略的課題を探る。

【基調講演】「中国と南北朝鮮双方との関係の新しい変化」  
朱建栄（東洋学園大学）

【報告1】「北朝鮮の情勢変化と東北アジアにおける「新冷戦」構図の形成」  
李潤哲（INAF）

【報告2】「北朝鮮のサイバー脅威とクーバン事案から見たサイバー安全保障の課題」  
李成訓（国家安保戦略研究院）

【パネル討論】三村光弘（新潟県立大学）／金崇培（釜慶大学）／権南希（関西大学）  
盧明華（韓国国防組織学会長）／木宮正史（東京大学名誉教授）



参加登録



SGRA  
Sakurabi International Research Association  
AISFUM INTERNATIONAL FOUNDATION

今回のフォーラムは李鋼哲さん（1999狸）のいらっしゃる金沢にて開催しました。  
会場の石川県立図書館は2022年に開館し、広い円形ドーム型の館内ではおしゃべりOKやグループワークができるスペースがあったり、知的好奇心を刺激する様々な切り口で選書された本棚が並ぶなど、従来の図書館のイメージの先を行く「知の殿堂」としての工夫を登壇者の先生方と一緒に楽しむことができました。



職員の方より設計のテーマや移設の経緯などを説明いただきました。



開会挨拶  
渥美国際交流財団  
今西 淳子常務理事



総合司会  
仁荷大学  
金 雄熙先生



第23回日韓アジア未来フォーラム(2026年2月20日)

## 中国と南北朝鮮双方との関係の 新しい変化と展望

東洋学園大学客員教授  
朱 建荣

## 중국과 남북한 양측과의 관계의 새로운 변화와 전망

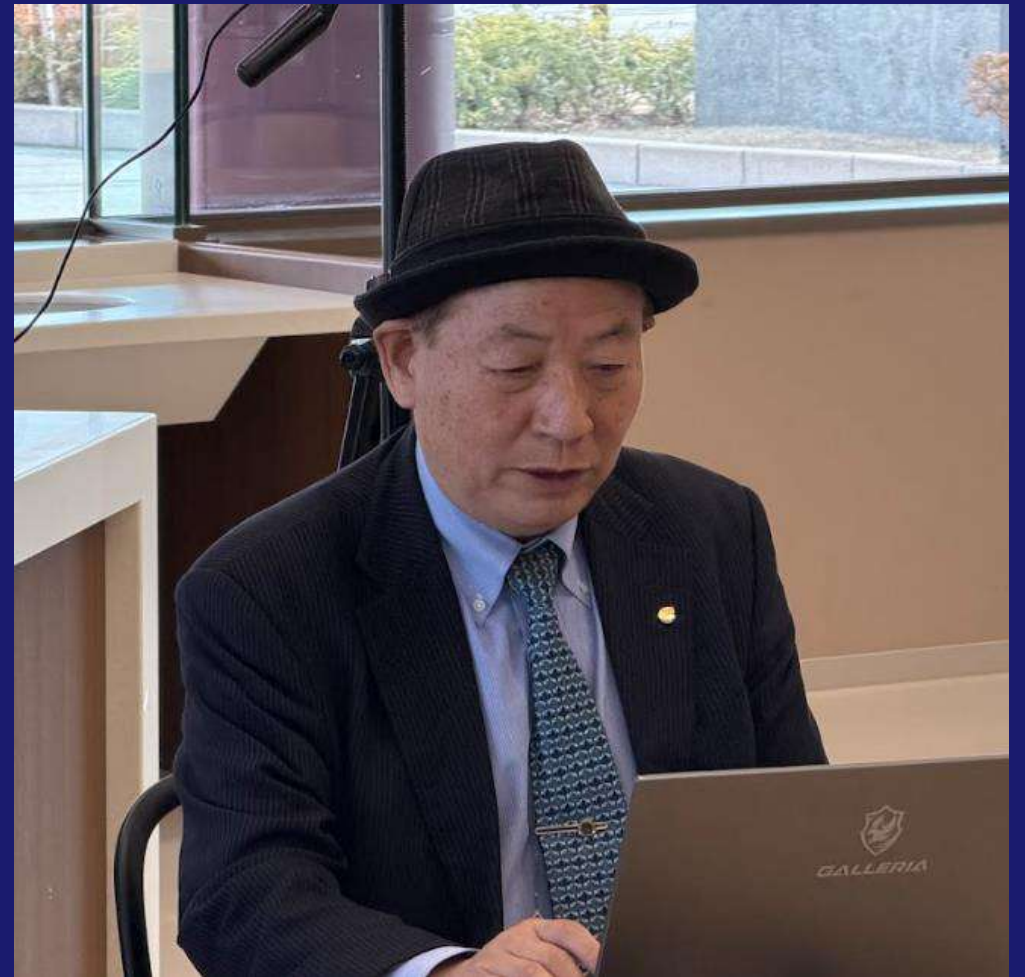
도요가쿠엔대학 객원교수  
슈 켄에이

基調講演  
東洋学園大学  
朱 建荣先生

【第23回日韓アジア未来フォーラム】

報告テーマ：  
北朝鮮の情勢変化と東北アジアにおけ  
る「新冷戦」構図の形成  
북한 정세 변화와 동북아시아의 '신냉전' 구도 형성

李 鋼哲 리강철  
一般社団法人・東北亜未来構想研究所  
일반사단법인 동북아미래구상연구소



報告 1  
東北亜未来構想研究所 (INAF)  
李 鋼哲先生



報告 2  
国家安保戦略研究院  
李 成訓先生

신시대의 한일 안보 파트너십  
(新時代の韓日安保パートナーシップ)

북한 사이버 위협 대응과 한일 협력  
(北朝鮮의 사이버脅威への対応と戦略的連携)

2026. 2

이성훈 李成訓  
(국가안보전략연구원 안보전략연구실장)  
(国家安保戰略研究院)



討論 1  
新潟県立大学  
三村 光弘先生



討論 2  
釜慶大学  
金 崇培先生



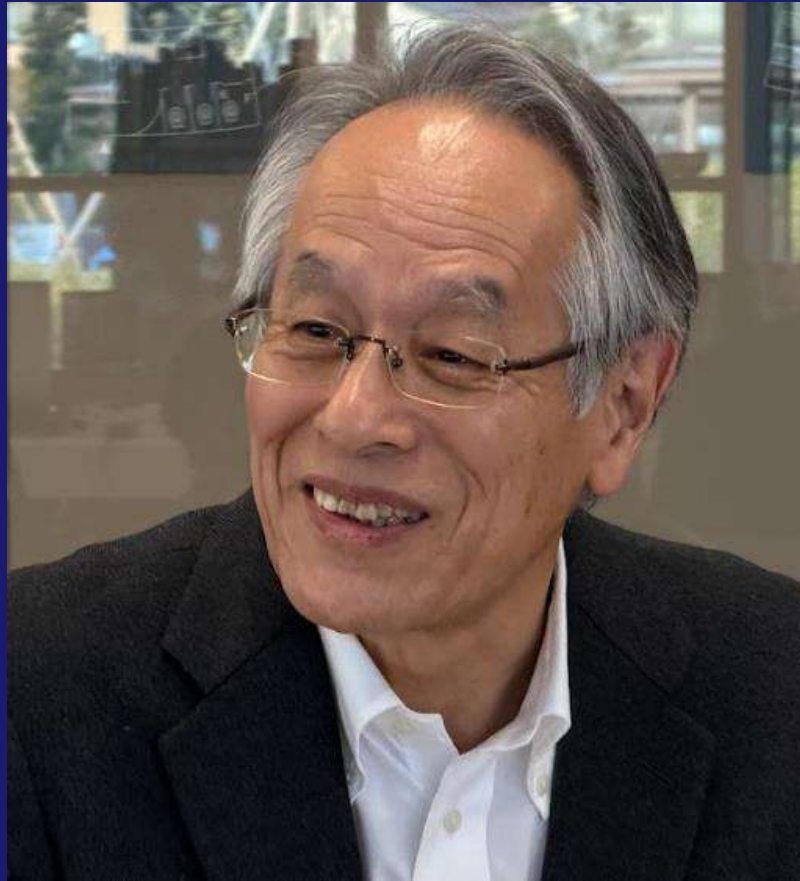
討論 3  
関西大学  
権 南希先生



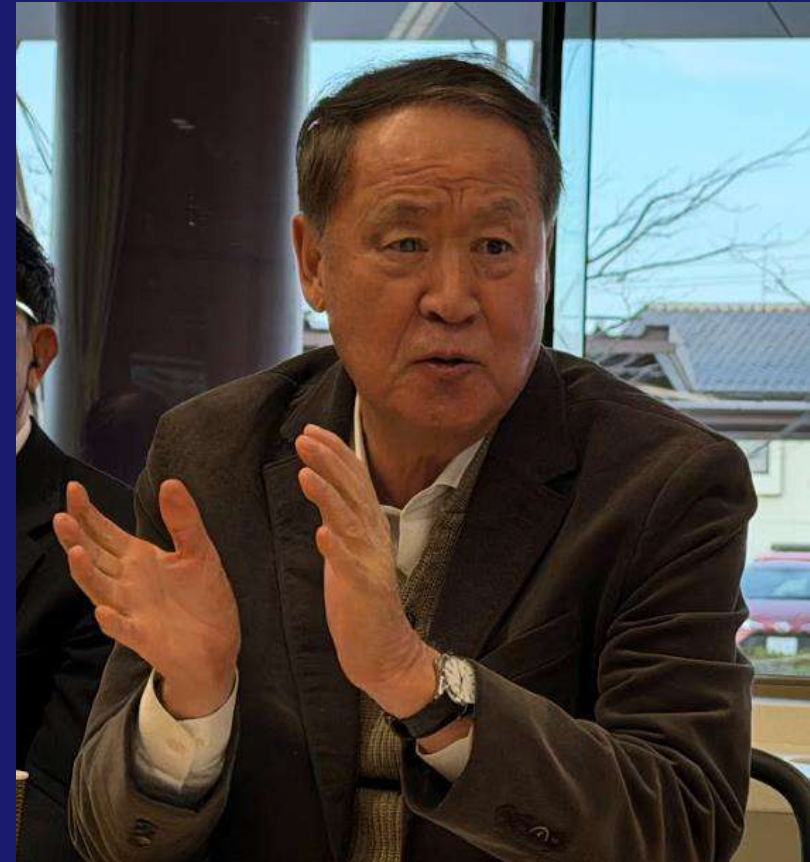
討論 4  
韓国国防組織学会  
盧 明華先生



討論 5  
東京大学  
木宮 正史先生



モデレーター  
名古屋大学名誉教授  
平川 均先生



閉会の辞  
未来人力研究院  
李 鎮奎先生



本フォーラムの内容はSGRAレポート第118号として発行いたします。  
ぜひお読みください。  
ご登壇いただきました先生方、誠にありがとうございました。